

# 基礎評価シート(平成29年度実績)

		担当部課等名	生涯学習課					
基本構想	環境と風景が息づくまちづくり		重点的方針	2-1 二宮を知り、二宮に触れ、二宮を体験できる環境づくり				
分野別方針	生涯学習・スポーツ、歴史・文化		実施計画事業	生涯学習振興事業(No.27)				
予算等事業名	にのみや町民大学推進事業							
目的	学習機会の提供や学習相談や情報提供などの学習支援を行い、町民の生涯学習の推進を図る。							
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習機会の提供・学習相談(生涯学習指導員の配置)</li> <li>・町民大学の開講</li> </ul>							
根拠法令・条例等								
体制	<input checked="" type="checkbox"/>	町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか		
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/> ② 計画より遅れている
<input type="checkbox"/>	③ 未実施	
②、③に対する理由	生涯学習指導員の配置及び町民大学講座の開催を計画通り進捗している。	

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか		
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる	<input type="checkbox"/> ② 削減は困難
理由	町民大学講座については、委託をしている生涯学習ボランティアとの調整が必要となる。	

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか		
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/> ② 効率化は困難
理由	現状においても、町民大学講座の企画運営業務を委託し、効率化を図っている。	

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 今後も町民大学講座の開催や学習相談を通じて、町民の生涯学習の推進を図る。	

## 総合評価

実績	にのみや町民大学講座の開催		
中間評価との相違点			
事業指標(数値指標)			
中期(29年度)目標値	【目標値の根拠または数値で表わせない指標】		
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	町民大学講座の実施状況(講座のジャンル、参加定員充足率、参加者の反応等)		

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		1,858	1,854	1,852	1,846		
財源内訳	一般財源	1,711	1,727	1,679	1,712		
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他	147	127	173	134		

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 学習機会の提供や学習相談を通じて町民の生涯学習の推進に寄与している。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	C
	【説明】 町民大学については、委託で行っている。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	B
	【説明】 町民大学講座の開催等町民の生涯学習の推進に寄与している。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	B
	【説明】 委託業務に職員が関わっているため、その分の人件費がかかっている。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 委託することにより数多くの町民大学講座を実施しているが、それに職員がどこまで関わるのかの検討が必要。	
	【理由】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入 町民による町民のための学習の場づくりを推進する。	
	【今後の方向性】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入 委託をしている学習ボランティア等町民が主体となった町民大学講座の運営をめざす。	

# 基礎評価シート(平成29年度実績)

	担当部課等名 生涯学習課
基本構想 環境と風景が息づくまちづくり	重点的方針 2-1 二宮を知り、二宮に触れ、二宮を体験できる環境づくり
分野別方針 生涯学習・スポーツ、歴史・文化	実施計画事業 生涯学習振興事業(No.27)
予算等事業名 図書館資料整備事業	
目的 学習機会の提供や学習相談や情報提供などの学習支援を行い、町民の生涯学習の推進を図る。	
内容 ・資料の整備(図書等の購入)	
根拠法令・条例等 図書館法第3条	
体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか			
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている
<input type="checkbox"/>	③ 未実施		
②、③に対する理由			

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか			
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難
理由	資料費の削減はサービスの低下につながるため。		

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか			
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難
理由	事業の性格上効率化は困難である。		

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	<b>【説明】</b> 計画通りに進んでいるが、町民の要望等により購入資料について随時改善を図っていく必要がある。	

## 総合評価

実績	図書館基金を充当し、年度毎に重点購入する分野を決めて資料の購入をすることができている。						
中間評価との相違点	リクエスト制度で町民の要望に応え、所蔵資料の分野毎の見直しを図ることができている。						
事業指標(数値指標)	蔵書冊数						
中期(29年度)目標値	214,000冊	<b>【目標値の根拠または数値で表わせない指標】</b>					
実績値	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">平成28年度</td> <td style="width: 33%;">平成29年度</td> <td style="width: 33%;">平成30年度</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">216,031</td> <td style="text-align: center;">217,183</td> <td></td> </tr> </table>			平成28年度	平成29年度	平成30年度	216,031
平成28年度	平成29年度	平成30年度					
216,031	217,183						

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		7,050	7,050	7,093	7,093	7,411	
財源内訳	一般財源	6,043	6,050	6,175	6,289	6,404	
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他	1,007	1,000	907	804	1,007	

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 図書館で資料を購入することで、町民の生活に必要な情報や資料を収集し提供できる。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	A
	【説明】 町の施策や町民の要求を把握し、必要な資料を収集することは町が主体となって実施すべきことである。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	B
	【説明】 年間貸出冊数が22万点以上あり、町民に大変利用されている。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 雑誌スポンサー制度や図書館の寄贈を積極的に活用し、資料費の削減に努めている。また27年度より図書館基金から資料費の充当を行っている。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 今後も図書館基金を活用しながら町民のニーズに合った資料を購入、整備していく。	
	【理由】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入	
	【今後の方向性】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入	

# 基礎評価シート(平成29年度実績)

	担当部課等名 生涯学習課
基本構想 環境と風景が息づくまちづくり	重点的方針 2-1 二宮を知り、二宮に触れ、二宮を体験できる環境づくり
分野別方針 生涯学習・スポーツ、歴史・文化	実施計画事業 生涯学習振興事業(No.27)
予算等事業名 社会教育委員経費	
目的 学習機会の提供や学習相談や情報提供などの学習支援を行い、町民の生涯学習の推進を図る。	
内容 ・社会教育委員会議の開催	
根拠法令・条例等 社会教育法 二宮町社会教育委員条例	
体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか			
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	③ 未実施
②、③に対する理由	社会教育委員会議を計画通り実施している。		

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか			
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難
理由	会議経費及び社会教育委員の研修会等必要最低限の経費で実施しているため、削減は困難。		

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか			
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難
理由	現状において、生涯学習センター運営審議会と兼務し、同日に会議を実施するなど効率化を図っている。		

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】	
	教育委員会の諮問機関であり、生涯学習課の事業を遂行していく上で必要であるため、今後も引き続き会議を実施していく。	

## 総合評価

実績	社会教育委員会議定例会【第1回:平成28年5月16日、第2回:平成28年7月12日、第3回:平成28年10月5日、第4回平成28年11月30日、第5回:平成29年1月27日、第6回:平成29年2月23日】		
中間評価との相違点	社会教育委員会議では、委員から積極的な意見が出ており、定例会とテーマ研究会を実施。		
事業指標(数値指標)			
中期(29年度)目標値	6回		【目標値の根拠または数値で表わせない指標】
実績値	平成28年度 6回	平成29年度 6回	平成30年度 会議の実施回数の維持

		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		302	266	274	265		
財源内訳	一般財源	302	266	274	265		
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 社会教育を推進していく上で、社会教育委員会議は必要である。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	A
	【説明】 教育委員会が行う社会教育事業についての諮問機関であり、町が主導で行う必要がある。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	B
	【説明】 社会教育事業に対し、委員からさまざまな視点からの意見をいただき、事業遂行に役立てている。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	B
	【説明】 費用をかけずに意見聴取ができていますが、会議回数については検討の余地がある。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 社会教育事業に対する意見を述べるにとどまらず、社会教育委員が主体となったテーマ研究の運営について検討していく必要がある。	
	【理由】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入	
	【今後の方向性】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入	

## 基礎評価シート(平成29年度実績)

		担当部課等名	生涯学習課					
基本構想	環境と風景が息づくまちづくり		重点的方針	2-1 二宮を知り、二宮に触れ、二宮を体験できる環境づくり				
分野別方針	生涯学習・スポーツ、歴史・文化		実施計画事業	青少年育成支援事業(No.28)				
予算等事業名	青少年育成地域活動事業							
目的	青少年指導員の指導・助言により、子ども達の健全育成のため、地域のジュニアリーダーの育成を図るとともに、子ども会活動を支援する。また、青少年関係団体との連携に努め、青少年を取り巻く社会環境の浄化活動を行う。							
内容	・ジュニアリーダーの養成(研究会の開催)							
根拠法令・条例等	神奈川県青少年保護育成条例 二宮町青少年指導員設置規則							
体制	<input checked="" type="checkbox"/>	町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

### 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	<input type="checkbox"/>	③ 未実施
②、③に対する理由	青少年指導員連絡協議会に事業委託し、連携しながら計画通り進んでいる。				

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる	<input type="checkbox"/>	② 削減は困難		
理由	研修の内容によっては検討できるが、企画運営を行っている青少年指導員連絡協議会との調整が必要である。				

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる	<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難		
理由	企画運営を行っている青少年指導員連絡協議会との調整が必要である。				

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)				B
	【説明】 ジュニアリーダー養成の必要性はあるが、対象者が集まらないという現状はあるため、内容や手法について検討して必要がある。				

### 総合評価

実績	青少年指導員連絡協議会(年6回)、ジュニアリーダー養成研修会の開催(年4回)、中学生交流洋上体験研修事業、一市四町青少年交流キャンプ				
中間評価との相違点					
事業指標(数値指標)					
中期(28年度)目標値	【目標値の根拠または数値で表わせない指標】				
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	青少年指導員連絡協議会(年5回)、ジュニアリーダー養成研修会の開催(年4回)、中学生交流洋上体験研修事業、一市四町青少年交流キャンプの実施状況	

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		1,566	1,392	1,411	1,354		
財源内訳	一般財源	1,202	1,045	1,056	1,204		
	国庫支出金						
	県支出金	284	284	255	102		
	その他	80	63	100	48		

事業の項目別評価

妥当性	(1)公費を投入して実施することが妥当な事業か A:妥当 B:どちらかといえば妥当 C:妥当ではない	B
	【説明】 町として青少年の健全育成を進めていく必要がある。	
妥当性	(2)町が主体となって実施する必要があるか A:町が行わなければならない B:町が行ったほうがよい C:委託等の必要がある	C
	【説明】 ジュニアリーダー養成については、委託で実施している。広域連携事業については、関係市町村で連携して実施している。	
有効性	成果が上がっているか A:十分成果が上がっている B:成果が上がっている C:成果が上がっていない	B
	【説明】 目に見える効果が分かりにくい、自然体験や集団生活により、社会性や協調性を高める一助となっている。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A:適切である B:改善の余地がある C:効率的ではない	B
	【説明】 費用を抑えてはいるものの、参加者が集まらない。	
総合評価	A:妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B:妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C:事業全体を見直す必要がある D:事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 小学校高学年から年齢が上がるに連れ、教育委員会で実施する社会教育事業になかなか参加してこない現状があり、その傾向が年々顕著になっていることから、事業展開を検討する必要がある。	
	【理由】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入  洋上体験研修及びジュニアリーダー養成研修いずれも参加者が年々減少しているにもかかわらず、毎年度、同じような事業が繰り返し行われている。	
	【今後の方向性】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入  民間が主体で開催したほうが効率的で良いものはその方向へ促し、柔軟性のある取組みによって参加者の増加を促す必要がある。	

# 基礎評価シート(平成29年度実績)

		担当部課等名	生涯学習課
基本構想	環境と風景が息づくまちづくり	重点的方針	2-1 二宮を知り、二宮に触れ、二宮を体験できる環境づくり
分野別方針	生涯学習・スポーツ、歴史・文化	実施計画事業	青少年育成支援事業(No.28)
予算等事業名	青少年社会環境浄化活動関係経費		
目的	青少年指導員の指導・助言により、子ども達の健全育成のため、地域のジュニアリーダーの育成を図るとともに、子ども会活動を支援する。また、青少年関係団体との連携に努め、青少年を取り巻く社会環境の浄化活動を行う。		
内容	・社会環境の浄化(パトロールの実施)		
根拠法令・条例等			
体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施	<input type="checkbox"/> 一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか			
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている <input type="checkbox"/> ③ 未実施
②、③に対する理由	環境浄化推進員の協力のもと、年間通じてパトロールを実施している。		

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか			
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難
理由	必要最低限の経費で実施しているため、削減は困難である。		

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか			
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる	<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難
理由	パトロールの回数や時期の見直し等は検討できる。		

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)		A
	【説明】 環境浄化推進員や関係団体の協力のもと、今後も継続していく。		

## 総合評価

実績	環境浄化パトロール(6回)、青少年健全育成街頭キャンペーン(2回)、愛のパトロール(4回)を実施		
中間評価との相違点			
事業指標(数値指標)			
中期(28年度)目標値	【目標値の根拠または数値で表わせない指標】		
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	環境浄化パトロール、愛のパトロール、青少年健全育成街頭キャンペーンの実施回数、実施状況等		

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		170	163	165	158		
財源内訳	一般財源	99	92	94	90		
	国庫支出金						
	県支出金	71	71	71	68		
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 継続的にパトロールや啓発活動を行っていくことが必要であり、妥当である。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	B
	【説明】 関係機関(県土木事務所、大磯警察等)との連携もあるため、町が主体となった方がよい。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	B
	【説明】 パトロールにおいて特に青少年の問題行動等はなく、地道な効果が上がっているといえる。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 費用をかけずに成果をあげている。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 今後も継続してパトロールや啓発活動を行っていくことが必要であるが、効率性を考えると回数や実施方法等は検討の余地がある。	
	【理由】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入  青少年の非行を防止するためにパトロールや啓発活動を行うことは必要なことである。	
	【今後の方向性】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入  今後も継続していく。	

# 基礎評価シート(平成29年度実績)

		担当部課等名	生涯学習課
基本構想	環境と風景が息づくまちづくり	重点的方針	2-1 二宮を知り、二宮に触れ、二宮を体験できる環境づくり
分野別方針	生涯学習・スポーツ、歴史・文化	実施計画事業	青少年育成支援事業(No.28)
予算等事業名	子ども会活動支援事業		
目的	青少年指導員の指導・助言により、子ども達の健全育成のため、地域のジュニアリーダーの育成を図るとともに、子ども会活動を支援する。また、青少年関係団体との連携に努め、青少年を取り巻く社会環境の浄化活動を行う。		
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども野外研修(研修会の開催)</li> <li>・子ども会の支援(研究会の開催・事業補助)</li> </ul>		
根拠法令・条例等			
体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか			
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	③ 未実施
②、③に対する理由	子ども会と連携し、計画通り実施している。		

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか			
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる	<input type="checkbox"/>	② 削減は困難
理由	子どもの数が減ってきているため、それに伴う削減は検討できる。		

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか			
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる	<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難
理由	野外研修については、今の形が定着し、マニュアル化できれば効率化が可能となる。		

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】	
	今の子どもや保護者等の現状を勘案し、内容を検討していく必要がある。	

## 総合評価

実績	子ども野外研修の開催(7月22日～23日:中止)、3月開催子ども野外研修(3月3日)、子ども会指導者・青少年指導員合同研修会(2回)の実施、子ども会事業への補助		
中間評価との相違点			
事業指標(数値指標)			
中期(28年度)目標値	【目標値の根拠または数値で表わせない指標】		
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度
			子ども野外研修の参加者、子ども会加入率、事業の実施状況

		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		2,733	2,645	1,555	1,367		
財源内訳	一般財源	1,978	2,020	1,210	1,219		
	国庫支出金						
	県支出金	300	300	300	131		
	その他	455	325	45	17		

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 子ども会活動は地域活動を行う上で重要な活動であり、支援として公費投入は妥当である。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	C
	【説明】 町が行う部分(指導者研修)と委託(野外研修)、補助金(子ども会事業)とすみ分けしている。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	B
	【説明】 子ども野外研修等による子どもの社会教育の場づくりとしては一定の成果があるといえる。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 子ども会や青少年指導員等ボランティアによる運営、受益者負担など、経費を抑え運営している。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 子ども野外研修では一定の成果があるといえるが、子ども会の加入率が減っているため、検討が必要。	
	【理由】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入	
	【今後の方向性】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入	

# 基礎評価シート(平成29年度実績)

		担当部課等名	生涯学習課
基本構想	環境と風景が息づくまちづくり	重点的方針	2-1 二宮を知り、二宮に触れ、二宮を体験できる環境づくり
分野別方針	生涯学習・スポーツ、歴史・文化	実施計画事業	青少年育成支援事業(No.28)
予算等事業名	成人祝賀会関係経費		
目的	青少年指導員の指導・助言により、子ども達の健全育成のため、地域のジュニアリーダーの育成を図るとともに、子ども会活動を支援する。また、青少年関係団体との連携に努め、青少年を取り巻く社会環境の浄化活動を行う。		
内容	・成人祝賀会の開催		
根拠法令・条例等			
体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施	<input type="checkbox"/> 一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか				
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	<input type="checkbox"/> ③ 未実施
②、③に対する理由	新成人を祝う場として成人祝賀会を計画通り実施している。			

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか				
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難	
理由	必要最低限の経費で実施しており、これ以上の削減は困難である。			

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか				
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難	
理由	新成人からなる成人式実行委員会と連携して事業を行っており、これ以上の効率化は困難である。			

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)			A
	【説明】 新成人を祝う場として今後も成人祝賀会を実施していく。			

## 総合評価

実績	成人祝賀会の実施(平成30年1月8日) 出席者新成人225名			
中間評価との相違点				
事業指標(数値指標)				
中期(28年度)目標値	【目標値の根拠または数値で表わせない指標】			
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	成人祝賀会の実施状況

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		130	130	130	130		
財源内訳	一般財源	130	130	130	130		
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 二宮町の将来を担う新成人を祝福することに公費を投入することは妥当である。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	A
	【説明】 新成人からなる実行委員会に補助金を出し、成人祝賀会への支援は妥当である。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	A
	【説明】 多くの同級生が集うことで、大人としての意識を高める場として成果を上げている。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 懇親会は参加費で賄っており、ホール代等必要最低限の補助金交付のみで成果を上げている。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 今後も新成人を祝福する場として実施していく。	
	【理由】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入	
	【今後の方向性】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入	

# 基礎評価シート(平成29年度実績)

		担当部課等名	生涯学習課					
基本構想	環境と風景が息づくまちづくり	重点的方針	2-1 二宮を知り、二宮に触れ、二宮を体験できる環境づくり					
分野別方針	生涯学習・スポーツ、歴史・文化	実施計画事業	家庭・地域・学校の協力連携事業(No.29)					
予算等事業名	家庭・地域教育推進事業							
目的	家庭や地域社会の教育の充実を図るため、講座・研修会等を開催する。							
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PTA活動の支援(研修開催・活動支援)</li> <li>・子育て支援(ゼミナールの開催)</li> <li>・放課後子ども教室の開催</li> <li>・子どもチャレンジ教室の開催</li> </ul>							
根拠法令・条例等								
体制	<input checked="" type="checkbox"/>	町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	<input type="checkbox"/>	③ 未実施
②、③に対する理由	計画通りそれぞれの事業を実施している。				

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる	<input type="checkbox"/>	② 削減は困難		
理由	事業内容により削減は可能である。				

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難		
理由	現状の職員主体であれば、効率化は困難である。				

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 放課後子ども教室については、地域や関係団体が主体的に運営できることが理想的であり、今後の動向を見ながら移行を検討する。	

## 総合評価

実績	PTA役員研修、PTA家庭教育学級への補助、放課後子ども教室(12回)、子どもチャレンジ教室(8講座)				
中間評価との相違点					
事業指標(数値指標)					
中期(28年度)目標値	【目標値の根拠または数値で表わせない指標】				
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	上記事業の実施状況(参加者数、参加者の反応等)	

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		753	727	686	628		
財源内訳	一般財源	604	599	538	527		
	国庫支出金						
	県支出金	80	76	78	78		
	その他	69	52	70	23		

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 子育て支援、子どもの健全育成に係わる事業であり、公費を使うのは妥当である。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	B
	【説明】 町が主導となって行った方がよい事業もあるが、委託で出来る部分は委託して行っている。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	A
	【説明】 子育て支援、子どもの体験活動の場、安心な居場所づくりとして成果を上げている。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	B
	【説明】 費用をかけずに実施しているが、事業によっては職員のかかわり方等見直しが必要である。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 一定の効果はあるが、職員のかかわり方や団体への委託等見直しが必要である。	
	【理由】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入 児童の見守りなどについて、行政だけでなく、地域力によって進めることができないか推進体制を検討する必要がある。	
	【今後の方向性】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入 放課後子ども教室は、今後、行政主導ではなく、一色小学校区地域再生協議会など地域と連携した取り組みが必要である。	

# 基礎評価シート(平成29年度実績)

	担当部課等名 生涯学習課
基本構想 環境と風景が息づくまちづくり	重点的方針 2-1 二宮を知り、二宮に触れ、二宮を体験できる環境づくり
分野別方針 生涯学習・スポーツ、歴史・文化	実施計画事業 スポーツ活動振興事業(No.30)
予算等事業名	スポーツ推進委員活動事業
目的	広く町民にスポーツ・レクリエーションの普及を図り、スポーツ精神の高揚と併せて体力づくりを推進する。
内容	スポーツ推進委員連絡協議会主催事業
根拠法令・条例等	スポーツ基本法 スポーツ推進委員に関する規則
体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか		
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/> ② 計画より遅れている <input type="checkbox"/> ③ 未実施
②、③に対する理由		

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか	
<input type="checkbox"/>	① 検討できる <input checked="" type="checkbox"/> ② 削減は困難
理 由	事業予算はないが、スポーツ推進委員活動事業経費内の予算で必要な消耗品を出しているため、検討は難しい。

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか	
<input type="checkbox"/>	① 検討できる <input type="checkbox"/> ② 効率化は困難
理 由	事業の低下にならないように、検討していく。

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	<b>【説明】</b> 事業の低下にならないように内容を検討し、協力体制を強化し、充実を図る。また、経費についても必要最小限で無駄が無いように、推進していく。	

## 総合評価

実績	スポーツ推進委員会議・事業など(25回)		
中間評価との相違点			
事業指標(数値指標)			
中期(29年度)目標値	【目標値の根拠または数値で表わせない指標】		
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	スポーツ推進委員自主事業・スポーツ事業会議など		

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		766	715	775	662		
財源内訳	一般財源	766	715	775	662		
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 町民の健康づくり・スポーツ普及に係わる事業であり、公費を使うのは妥当である。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	B
	【説明】 スポーツ推進委員が主体となって行った方が良い事業もあるが、引き続き連携を取り実施する。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	B
	【説明】 スポーツ推進委員主催事業・町のスポーツ事業を開催し、健康づくり及び普及活動に成果は上がっている。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	B
	【説明】 スポーツ推進委員が主体となって実施している事業は、公費をかけずに成果をあげている。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 一定の成果はあるが今後、自主事業への職員のかかわり方を見直す必要がある。	
	【理由】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入	
	【今後の方向性】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入	

# 基礎評価シート(平成29年度実績)

	担当部課等名 生涯学習課
基本構想	環境と風景が息づくまちづくり
	重点的方針 2-1 二宮を知り、二宮に触れ、二宮を体験できる環境づくり
分野別方針	生涯学習・スポーツ、歴史・文化
	実施計画事業 スポーツ活動振興事業(No.30)
予算等事業名	町内一周継走大会事業
目的	広く町民にスポーツ・レクリエーションの普及を図り、スポーツ精神の高揚と併せて体力づくりを推進する。
内容	・スポーツ推進委員連絡協議会・体育協会理事・評議員会議(会議・見直し、大会実施)
根拠法令・条例等	町内一周継走大会要項
体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか		
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>
	② 計画より遅れている	<input type="checkbox"/>
	③ 未実施	
②、③に対する理由		

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか		
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>
	② 削減は困難	
理由	必要最小限の経費で実施しているため、削減は難しい。	

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか		
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる	<input type="checkbox"/>
	② 効率化は困難	
理由	毎年事業の効率化を図っているため、検討出来る。	

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 継走大会に、参加する地区の選手集めの問題点や役員として協力して頂く、体育協会の協力人員数の問題点など改善する必要があると考えます。	

## 総合評価

実績	継走大会会議(大会参加:スポーツ推進委員)(運営及び協力者:体育協会)		
中間評価との相違点			
事業指標(数値指標)			
中期(29年度)目標値	【目標値の根拠または数値で表わせない指標】		
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	継走大会参加者実施状況(選手・役員)		

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		191	154	166	150		
財源内訳	一般財源	191	154	166	150		
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	B
	【説明】 町民のスポーツ普及・地域の繋がりに係わる事業であり、公費を使うのは妥当である。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	B
	【説明】 町が主体となり、地区・スポーツ推進委員・体育協会と連携を取り今後の方向性を含めて実施していく。また、一部は、委託で実施している。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	B
	【説明】 大会を通じて、地域の繋がりについては、成果を上げているが、今後、選手集めなどを地区と検討して、実施していく。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	B
	【説明】 必要最小限の費用をかかて、実施し、成果を上げているが、会議・運営方法を検討する必要がある。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	C
	【説明】 地区の選手集めや大会コース・管理運営など全体に見直す必要がある。	
	【理由】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入 地区での選手集めが困難であること。また、地区全体で事業に取組み、協力体制を作ることが必要になり、参加しやすい大会を目指す必要がある。	
	【今後の方向性】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入 今までは、スポーツ推進委員が選手集めを行っていたが、今後は、地区長が中心になり選手集めを行い、実施する。	

# 基礎評価シート(平成29年度実績)

	担当部課等名 生涯学習課
基本構想	環境と風景が息づくまちづくり
	重点的方針 2-1 二宮を知り、二宮に触れ、二宮を体験できる環境づくり
分野別方針	生涯学習・スポーツ、歴史・文化
	実施計画事業 スポーツ活動振興事業(No.30)
予算等事業名	二宮町体育祭事業
目的	広く町民にスポーツ・レクリエーションの普及を図り、スポーツ精神の高揚と併せて体力づくりを推進する。
内容	・スポーツ推進委員連絡協議会・体育協会理事・評議員会議(会議・見直し、大会実施)
根拠法令・条例等	体育祭要項
体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか		
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/> ② 計画より遅れている
<input type="checkbox"/>	③ 未実施	
②、③に対する理由		

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか	
<input type="checkbox"/>	① 検討できる
<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難
理 由	今年度は、大幅な経費削減を行い、事業を実施しました。次年度は、内容は検討するが、経費削減は難しい。

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか	
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる
<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難
理 由	事業の効率化は、毎年検討しているため実施出来る。

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	<b>【説明】</b> 事業の効果は、非常に高く、町の活性化にも十分繋がっている。引き続き事業の推進を進めて行きたい。	

## 総合評価

実績	体育祭(大会参加:スポーツ推進委員)(運営及び協力者:体育協会)		
中間評価との相違点			
事業指標(数値指標)			
中期(29年度)目標値	【目標値の根拠または数値で表わせない指標】		
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	体育祭参加者実施状況(地区参加者・役員)		

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		890	865	1,005	787		
財源内訳	一般財源	854	865	1,041	823		
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他	36	36	36	36		

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 町民の健康づくり・スポーツ普及・地域の繋がりに係わる事業であり、公費を使うのは妥当である。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	B
	【説明】 当日の大会運営や大会消耗品などは、体育協会へ委託をしている。その他、内容は、町が主体で行っている。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	A
	【説明】 十分成果は上がっているが、今後もより一層成果を上げていきたい。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 必要最小限で費用をかけて実施しているため、改善することは難しい。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 町の大きな事業として開催をしている。今後も引き続き推進するため、各団体と地域と連携を取り、進めていく。	
	【理由】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入	
	【今後の方向性】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入	

# 基礎評価シート(平成29年度実績)

	担当部課等名 生涯学習課
基本構想 環境と風景が息づくまちづくり	重点的方針 2-1 二宮を知り、二宮に触れ、二宮を体験できる環境づくり
分野別方針 生涯学習・スポーツ、歴史・文化	実施計画事業 スポーツ推進団体支援事業(No.31)
予算等事業名 社会体育推進事業	
目的 社会体育振興のため町体育協会を中心とする各種団体に補助をしてスポーツ振興及びスポーツ団体の強化を図る。	
内容 ・スポーツ事業の内容及び開催日検討・町団体補助事業 ・各種スポーツ事業の傷害保険の検討、実施	
根拠法令 ・条例等	
体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	<input type="checkbox"/>	③ 未実施
②、③に対する理由					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる	<input type="checkbox"/>	② 削減は困難		
理 由	傷害保険料は、事業の参加人数や内容を検討して、経費削減は検討出来ます。しかし、団体への補助は、各団体数や人員により増減することがある。				

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる	<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難		
理 由	事業の効率化を図るため、団体と意見交換を図りたい。				

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	<b>【説明】</b> 体育協会は、町に必要な団体であります。しかし、体育協会への補助については、年々各団体登録人数が減少している。そのため、体育協会を支援し、活性化を図りたい。	

## 総合評価

実績	体育祭協力・継走大会協力(会議出席・大会準備・大会当日運営)・かながわ駅伝協力(会議・選手選出)				
中間評価との相違点					
事業指標(数値指標)					
中期(29年度)目標値	<b>【目標値の根拠または数値で表わせない指標】</b>				
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	体育協会団体加盟数及び協会員 事業参加者など	

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		1,345	1,305	1,421	1,404		
財源内訳	一般財源	1,345	1,305	1,421	1,404		
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 体育協会の運営及び町事業を実施する際に、協力体制を取り実施するため、必要は事業である。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	A
	【説明】 町が主体となり、体育協会と連携を取り行うことが必要である。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	A
	【説明】 事業の開催や体育協会運営については、一定の成果は上がっている。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 必要最小限で費用をかけて実施しているため、改善することは難しい。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 体育協会の運営を強化し、町事業を引き続き推進する必要がある。	
	【理由】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入	
	【今後の方向性】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入	

# 基礎評価シート(平成29年度実績)

		担当部課等名	生涯学習課
基本構想	環境と風景が息づくまちづくり	重点的方針	2-1 二宮を知り、二宮に触れ、二宮を体験できる環境づくり
分野別方針	生涯学習・スポーツ、歴史・文化	実施計画事業	スポーツ推進団体支援事業(No.31)
予算等事業名	スポーツ推進委員活動事業		
目的	社会体育振興のため町体育協会を中心とする各種団体に補助をしてスポーツ振興及びスポーツ団体の強化を図る。		
内容	・スポーツ推進委員連絡協議会(年間予定検討)		
根拠法令・条例等	スポーツ基本法 スポーツ推進委員に関する規則		
体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施	<input type="checkbox"/> 一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託
		<input type="checkbox"/> その他	

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか			
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている
		<input type="checkbox"/>	③ 未実施
②、③に対する理由			

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか	
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる
<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難
理 由	スポーツ推進委員は、任期が1期2年のため、ユニホームが必要です。しかし、経費削減をするため、各地区で対応を検討している。

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか	
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる
<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難
理 由	スポーツ推進委員と協議を行い、効率化を図りたい。

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	<b>【説明】</b> 29年度より少年少女ソフトバレーボール大会に代わる、新規自主事業を検討し、進めています。そのため、事業の推進を図りたい。	

## 総合評価

実績	スポーツ推進委員自主事業(バウンズボール大会:7月29日・30日実施など)		
中間評価との相違点			
事業指標(数値指標)			
中期(29年度)目標値	【目標値の根拠または数値で表わせない指標】		
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度
			スポーツ推進委員出席状況

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		766	715	775	662		
財源内訳	一般財源	766	715	775	662		
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	B
	【説明】 バンスボール大会は、公費を投入していない。消耗品など必要最小限で投入するべきである。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	B
	【説明】 スポーツ推進委員が自主事業で行っているため、職員のかかわり方について検討する必要がある。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	C
	【説明】 29年度よりバンスボール大会を開催したため、地区の協力や周知等がまだ必要である。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	B
	【説明】 この事業が今後、成果を上げた場合は、費用をかける必要がある。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 スポーツ推進委員が自主事業として、運営出来るように、協力体制を取り、事業の推進をする。	
	【理由】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入	
	【今後の方向性】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入	

## 基礎評価シート(平成29年度実績)

		<b>担当部課等名</b>	生涯学習課	
<b>基本構想</b>	環境と風景が息づくまちづくり	<b>重点的方針</b>	2-1 二宮を知り、二宮に触れ、二宮を体験できる環境づくり	
<b>分野別方針</b>	生涯学習・スポーツ、歴史・文化	<b>実施計画事業</b>	文化振興事業(No.32)	
<b>予算等事業名</b>	文化振興事業			
<b>目的</b>	町民の文化・芸術活動を奨励し、活動をとおして町民相互の交流を深め心豊かな心でうるおいのある生活ができるよう開催する。			
<b>内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化祭実施</li> <li>・マラソンコンサート実施</li> <li>・文化振興補助(優れた公演を支援)</li> <li>・文化団体支援(町民の文化活動を支援)</li> </ul>			
<b>根拠法令・条例等</b>				
<b>体制</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> その他

### 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか				
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	<input type="checkbox"/>
	③ 未実施			
<b>②、③に対する理由</b>	それぞれの事業を計画通りに実施している。			

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか				
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる	<input type="checkbox"/>	② 削減は困難	
<b>理由</b>	文化団体連盟と協議したり、文化支援の仕組みを見直すなど検討していく予定である。			

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか				
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる	<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難	
<b>理由</b>	経費の削減と併せて検討していく。			

<b>中間評価</b>	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	<b>B</b>
	<b>【説明】</b>	
	文化団体連盟加盟団体の減少などの課題があり、文化祭や文化振興補助金のあり方については今後検討していく。	

### 総合評価

<b>実績</b>	文化祭(10月13日～11月5日)、ラディアンピアノマラソンコンサート(3月4日)、文化団体連盟への補助、文化振興団体への補助			
<b>中間評価との相違点</b>				
<b>事業指標(数値指標)</b>				
<b>中期(28年度)目標値</b>	<b>【目標値の根拠または数値で表わせない指標】</b>			
<b>実績値</b>	平成28年度	平成29年度	平成30年度	文化祭、ラディアンピアノマラソンコンサートの実施状況

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		1,068	1,052	992	976		
財源内訳	一般財源	868	888	792	798		
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他	200	164	200	178		

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 町の文化の振興を推進するため、公費の投入は妥当である。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	B
	【説明】 一部の事業については、団体に委託している。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	B
	【説明】 ラディアンホール等を生かし、多様な文化事業を展開している。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 文化団体連盟が運営へ参画し、経費をかけずに実施できている。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 文化団体連盟は高齢化による役員のなり手がいないという問題があり、平成29年度をもって解散する。	
	【理由】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入 町民の文化、芸能活動の推進の一助になっている。ただし、文化団体連盟の解散の伴う、文化祭への参加について、検討する必要がある。	
	【今後の方向性】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入 事業を継続しながら、検討を進める。	

# 基礎評価シート(平成29年度実績)

		担当部課等名	生涯学習課
基本構想	環境と風景が息づくまちづくり	重点的方針	2-1 二宮を知り、二宮に触れ、二宮を体験できる環境づくり
分野別方針	生涯学習・スポーツ、歴史・文化	実施計画事業	ふるさと教育推進事業(No.33)
予算等事業名	文化財保護普及啓発事業		
目的	町指定文化財の管理運営を補助するなど、町の文化財保護の推進を図るとともに、歴史や文化財を町民に広く周知し、文化財保護の思想を高め、町を愛する心を養う。		
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町の歴史や文化財の研究(文化財保護事務嘱託員の配置)</li> <li>・文化財保護(文化財保護委員会の開催)</li> <li>・バーチャル郷土館(バーチャル郷土館の運営)</li> <li>・町指定文化財の管理(町指定文化財管理への支援)</li> </ul>		
根拠法令・条例等	文化財保護法 文化財保護条例		
体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他		

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか			
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている
<input type="checkbox"/>	③ 未実施		
②、③に対する理由	計画通り事業を実施している。		

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか			
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる	<input type="checkbox"/>	② 削減は困難
理由	事業によっては検討できる。		

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか			
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難
理由	専門性が必要な分野であり、専門職の配置により効率化が図られている。		

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	<b>【説明】</b> 専門性が必要な分野であり、町民のニーズも専門化しているため、今後も専門職の配置が必要である。	

## 総合評価

実績	文化財保護事務嘱託員の配置、文化財保護委員会の開催(2回)、バーチャル郷土館の更新、町指定文化財管理補助		
中間評価との相違点			
事業指標(数値指標)			
中期(28年度)目標値	<b>【目標値の根拠または数値で表わせない指標】</b>		
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	文化財保護委員会の開催、バーチャル郷土館の更新状況		

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		1,918	1,902	1,998	1,959		
財源内訳	一般財源	1,918	1,902	1,998	1,959		
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 文化財保護普及は町が率先してすべきであり、公費を投入することは妥当である。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	A
	【説明】 町が主導により行う必要がある。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	B
	【説明】 文化財保護事務嘱託員の配置により、専門的な対応が可能となっている。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 費用をかけずに、保護普及に努めている。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 文化財保護事務嘱託員の配置により、適切な対応ができている。	
	【理由】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入	
	【今後の方向性】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入	

# 基礎評価シート(平成29年度実績)

		担当部課等名	生涯学習課
基本構想	環境と風景が息づくまちづくり	重点的方針	2-1 二宮を知り、二宮に触れ、二宮を体験できる環境づくり
分野別方針	生涯学習・スポーツ、歴史・文化	実施計画事業	ふるさと教育推進事業(No.33)
予算等事業名	伝統芸能保存事業		
目的	町指定文化財の管理運営を補助するなど、町の文化財保護の推進を図るとともに、歴史や文化財を町民に広く周知し、文化財保護の思想を高め、町を愛する心を養う。		
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民俗芸能の保存(民俗芸能団体への支援)</li> <li>・民俗芸能の紹介(つどいの開催)</li> </ul>		
根拠法令・条例等	文化財保護法 文化財保護条例		
体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施	<input type="checkbox"/> 一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか				
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	<input type="checkbox"/> ③ 未実施
②、③に対する理由	民俗芸能保存会連絡協議会と連携をし、計画どおりに進捗している。			

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか				
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難	
理由	民俗芸能保存会連絡協議会との調整が必要である。			

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか				
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる	<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難	
理由	民俗芸能保存会連絡協議会の協力が得られれば検討できる。			

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】	
	伝統文化を次世代に継承していくために今後も継続して実施していく。	

## 総合評価

実績	民俗芸能団体への支援、民俗芸能のつどいの実施【10月22日(日)】			
中間評価との相違点				
事業指標(数値指標)				
中期(28年度)目標値	【目標値の根拠または数値で表わせない指標】			
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	民俗芸能のつどいの実施状況、民俗芸能団体への支援

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		579	579	579	578		
財源内訳	一般財源	579	579	579	578		
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 伝統文化を継承していく支援を行うため、公費を投入するのは妥当である。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	B
	【説明】 民俗芸能のつどいは、民俗芸能保存会連絡協議会との共催で実施している。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	B
	【説明】 民俗芸能のつどいが日頃の成果発表の場となり、活動の励みとなっている。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 費用をかけずに一定の成果を上げている。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 伝統芸能の継承のため、継続して実施する必要がある。	
	【理由】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入	
	【今後の方向性】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入	

# 基礎評価シート(平成29年度実績)

		担当部課等名	生涯学習課
基本構想	環境と風景が息づくまちづくり	重点的方針	2-1 二宮を知り、二宮に触れ、二宮を体験できる環境づくり
分野別方針	生涯学習・スポーツ、歴史・文化	実施計画事業	ふるさと教育推進事業(No.33)
予算等事業名	埋蔵文化財調査事業		
目的	町指定文化財の管理運営を補助するなど、町の文化財保護の推進を図るとともに、歴史や文化財を町民に広く周知し、文化財保護の思想を高め、町を愛する心を養う。		
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・埋蔵文化財保護行政(埋蔵文化財調査員の配置)</li> <li>・埋蔵文化財の調査(試掘調査)</li> </ul>		
根拠法令・条例等	文化財保護法 文化財保護条例		
体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他		

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか				
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	<input type="checkbox"/> ③ 未実施
②、③に対する理由	埋蔵文化財調査員の配置により試掘調査等実施している。			

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか				
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難	
理由	本来であれば、正規職員での専門職が求められるところである。			

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか				
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難	
理由	本来の埋蔵文化財行政業務ができていないため、困難である。			

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 専門性を必要とする業務の量や質が開発や工事等によるところがあり、予測が困難であるが、専門職員の配置により、町全体の埋蔵文化財の現状を把握し、方向性を示す必要がある。	

## 総合評価

実績	埋蔵文化財調査員の配置、埋蔵文化財の試掘調査				
中間評価との相違点					
事業指標(数値指標)					
中期(28年度)目標値	【目標値の根拠または数値で表わせない指標】				
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	埋蔵文化財包蔵地についての照会、試掘調査の状況等	

		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		1,297	978	1,297	777		
財源内訳	一般財源	1,297	978	1,297	777		
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

## 事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 埋蔵文化財の保護について公費を投入することは妥当である。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	A
	【説明】 町が主導となって埋蔵文化財の周知・保護に係わる必要がある。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	B
	【説明】 埋蔵文化財の専門職員の配置により、専門的な対応が可能となった。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	B
	【説明】 埋蔵文化財の保護には発掘、調査が必要であり、費用がかかる。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 妥当性・有効性はあると言えるが、費用面がかかるため。	
	【理由】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入 埋蔵文化財の調査をどこまでするか、検討の余地がある。	
	【今後の方向性】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入 現状では、文化財保護法第93条・94条に基づき、埋蔵文化財の調査を実施していく。	

# 基礎評価シート(平成29年度実績)

		担当部課等名	生涯学習課		
基本構想	環境と風景が息づくまちづくり	重点的方針	2-2 子育てと仕事の両立の推進		
分野別方針	自治体経営	実施計画事業	人権啓発活動事業(No.80)		
予算等事業名	人権教育推進事業				
目的	人権啓発キャンペーンの実施や人権関係講演会を実施することにより、「人権」に対する町民一人ひとりの意識高揚を図る。				
内容	・人権教育研修会の開催				
根拠法令 ・条例等					
体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施	<input type="checkbox"/> 一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> その他	

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	<input type="checkbox"/>	③ 未実施
②、③に対する理由	計画どおりに人権研修会の実施をしている。				

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難		
理由	必要最低限の経費で実施しており、削減は困難である。				

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる	<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難		
理由	町部局との共催や連携等により効率化は検討できる。				

中間 評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)				A
	【説明】 今後も継続して人権研修会等の事業を実施し、人権意識の啓発を行っていい必要がある。				

## 総合評価

実績	・人権教育研修会の実施【平成30年2月24日(土)、参加者28人】 ・男女共同参画推進事業の実施【平成30年3月10日(土)、参加者31人】				
中間評価との相違点					
事業指標(数値指標)	参加者数				
中期(28年度)目標値	60人			【目標値の根拠または数値で表わせない指標】	
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成28年度の実績を維持する	
	58人	59人			

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		91	77	91	82		
財源内訳	一般財源	91	77	91	82		
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 人権教育は町で率先して行う必要がある。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	A
	【説明】 町が主導で、人権意識の普及啓発する必要がある。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	B
	【説明】 参加者にとっては、一定の成果があると考えます。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 費用をかけずに一定の成果を上げている。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 継続して地道に啓発を行うことが必要である。	
	【理由】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入	
	【今後の方向性】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入	

## 基礎評価シート(平成29年度実績)

		担当部課等名	生涯学習課					
基本構想	交通環境と防災対策の向上		重点的方針	3-2 公共施設の総合的マネジメントとコンパクトさを活かした暮らしやすいまちづくり				
分野別方針	自治体経営		実施計画事業	公有財産管理運営事業(No.89)				
予算等事業名	図書館運営事業							
目的	公共施設の適切かつ効果的な管理と再配置、及び、行財政運営の効率化による経費の重点配分。							
内容	・効率的な運営の実施							
根拠法令 ・条例等								
体制	<input checked="" type="checkbox"/>	町職員実施	<input type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

### 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	
<input type="checkbox"/>	③ 未実施				
②、③に対する理由					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難	
理由		サービスの低下につながるため。			

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる		<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難	
理由		事業の効率化を図りつつ、利用者増の方策について検討・実施していきたい。			

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)				B
	【説明】 今後も事業の効率化を図りつつ、サービスの充実に取り組んでいく。				

### 総合評価

実績	効率化について、スタッフミーティング等で挙げた事項を検討し、改善に向けた取り組みをすすめている。 (曜日、時間帯によるカウンター人員の配置、予約用紙の取扱いの簡略化等)				
中間評価との相違点					
事業指標(数値指標)	利用者数				
中期(29年度)目標値	230,000人			【目標値の根拠または数値で表わせない指標】	
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	1年間の入館者数	
	213,555	212,004	—		

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		34,909	34,624	35,660	35,313		
財源内訳	一般財源	34,798	34,528	35,549	34,483		
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他	111	96	111	83		

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	<b>【説明】</b> 図書館法第1条の目的に基づき、町が図書館の設置をし、事業に公費を投入する必要がある。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	A
	<b>【説明】</b> 学校その他の教育施設等との連携、地域資料の収集保存、蔵書構築の継続性等のため、町による直営が望ましい。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	B
	<b>【説明】</b> こどもの本コーナーへの相談員の配置や、図書館講座の開催など、利用向上のためのサービスに積極的に取り組んでいる。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	B
	<b>【説明】</b> 未利用者の利用を促すため、今後も、事業を継続し、PRに力を入れていく。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	<b>【説明】</b> カウンターの人員配置や一部事業の見直し等行い、経費の削減に努める。	
	<b>【理由】</b> ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入	
	<b>【今後の方向性】</b> ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入	

# 基礎評価シート(平成29年度実績)

		担当部課等名	生涯学習課		
基本構想	交通環境と防災対策の向上	重点的方針	3-2 公共施設の総合的マネジメントとコンパクトさを活かした暮らしやすいまちづくり		
分野別方針	自治体経営	実施計画事業	公有財産管理運営事業(No.89)		
予算等事業名	生涯学習センター管理運営事業				
目的	公共施設の適切かつ効果的な管理と再配置、及び、行財政運営の効率化による経費の重点配分。				
内容	・効率的な管理・運営				
根拠法令・条例等	二宮町生涯学習センターの設置及び管理に関する条例				
体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> その他	

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input checked="" type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	<input type="checkbox"/>	③ 未実施
②、③に対する理由	設備の突発的な故障が多く、計画していた修繕ができない現状である。				

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難		
理由	開館から15年以上経過し、施設や設備の老朽化や故障等が多くみられる。				

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる	<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難		
理由	指定管理者制度等の検討は必要であり、今後検討をしていく。				

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】	多くの町民に利用されている施設であるが、経年により、修繕や工事をする必要が生じている。

## 総合評価

実績	生涯学習センターの管理運営				
中間評価との相違点					
事業指標(数値指標)	ラディアン稼働率(午前・午後・夜間3区分による算出)				
中期(28年度)目標値	【目標値の根拠または数値で表わせない指標】				
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度		
	54.30%	55.30%			

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		56,430	51,808	58,766	56,934		
財源内訳	一般財源	33,064	28,139	35,057	34,162		
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他	23,366	23,669	23,709	22,772		

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 多くの町民が集う文化拠点となっており、公費を投入することが妥当である。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	B
	【説明】 一部委託も取り入れながら、町が主体となって実施すべきである。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	A
	【説明】 学習・文化活動の場、芸術に触れる場として多くの方に利用いただいている。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 費用を最小限に抑え、成果を上げている。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 今後も、町民の利便性や多くの方に利用していただける運営をめざした管理運営を行う。	
	【理由】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入	
	【今後の方向性】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入	

# 基礎評価シート(平成29年度実績)

		担当部課等名	生涯学習課		
基本構想	交通環境と防災対策の向上	重点的方針	3-2 公共施設の総合的マネジメントとコンパクトさを活かした暮らしやすいまちづくり		
分野別方針	自治体経営	実施計画事業	公有財産管理運営事業(No.89)		
予算等事業名	ふたみ記念館管理運営経費				
目的	公共施設の適切かつ効果的な管理と再配置、及び、行財政運営の効率化による経費の重点配分。				
内容	・観覧者数増加方策の検討				
根拠法令・条例等					
体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施	<input type="checkbox"/> 一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> その他	

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	<input type="checkbox"/>	③ 未実施
②、③に対する理由	ボランティアの協力を得ながら、観覧者数を増やすため、イベントの実施等を行っている。				

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難		
理由	現状においては必要最低限の経費で運営しており、美術館としての運営をしていくには、削減は困難である。				

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる	<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難		
理由	ボランティア等の支援や協力が得られれば検討できる。				

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】	
	ボランティアが主体となり、展示替えの企画やイベントの実施などを行っている。今後も連携してできるだけ多くの方に足を運んでもらえるような方策を検討する。	

## 総合評価

実績	ふたみ記念館の管理運営				
中間評価との相違点					
事業指標(数値指標)	年間の観覧者数				
中期(28年度)目標値	【目標値の根拠または数値で表わせない指標】				
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度		
	616	643			

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		3,317	3,065	3,286	3,046		
財源内訳	一般財源	3,045	2,805	3,041	2,812		
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他	272	236	245	234		

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	<b>【説明】</b> 町の芸術・文化の振興を図るため、公費投入は妥当である。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	B
	<b>【説明】</b> 町が主導となり、ボランティアや専門家の意見を聞きながら実施するべきである。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	B
	<b>【説明】</b> 町の芸術の拠点として徐々に認知されつつある。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	B
	<b>【説明】</b> より費用をかけずに効果をあげる必要がある。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	<b>【説明】</b> さらなるPRと経費削減を進めていく必要がある。	
	<b>【理由】</b> ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入 閉館日を週1日増加させることとし、効率的な運営に努めることとしたが、今後の状況によっては、さらなる検討を要する。	
	<b>【今後の方向性】</b> ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入 さらに、効率的な運営を進めていく必要がある	

# 基礎評価シート(平成29年度実績)

		担当部課等名	生涯学習課					
基本構想	交通環境と防災対策の向上		重点的方針	3-2 公共施設の総合的マネジメントとコンパクトさを活かした暮らしやすいまちづくり				
分野別方針	自治体経営		実施計画事業	公有財産管理運営事業(No.89)				
予算等事業名	テニスコート施設管理運営事業							
目的	公共施設の適切かつ効果的な管理と再配置、及び、行財政運営の効率化による経費の重点配分。							
内容	・維持管理・運営の検討							
根拠法令・条例等	体育施設の設置・管理等に関する条例及び施行規則							
体制	<input checked="" type="checkbox"/>	町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか								
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている		<input type="checkbox"/>	③ 未実施	
②、③に対する理由								

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか								
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難				
理由		毎年、事業内容を検討しているが、維持管理費の削減は難しい。						

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか								
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難				
理由		事業の効率化を図りたいが、近年、異常気象により、テニスコートの浸水が多く発生しているため、清掃を職員で対応しているため、困難である。						

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)							C
	【説明】 テニスコート清掃を職員が実施する回数が多く発生しているため、予算の見直しが必要である。							

## 総合評価

実績	テニスコート清掃回数3回(ラディアン:6月・10月・3月)							
中間評価との相違点								
事業指標(数値指標)								
中期(29年度)目標値				【目標値の根拠または数値で表わせない指標】				
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	テニスコートの清掃回数				

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		655	645	624	506		
財源内訳	一般財源	655	645	624	506		
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他	756	914	856	731		

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 運営に必要な清掃・消耗品・草刈りなどは、公費を投入する必要がある。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	C
	【説明】 消耗品・修繕以外の管理は委託で実施している。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	B
	【説明】 利用率は上がっているが、調整池にあるため、天候により管理が難しい。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 必要最小限の費用で管理運営を行っている。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 今後も必要最小限の費用で管理運営を行う。	
	【理由】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入	
	【今後の方向性】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入	

# 基礎評価シート(平成29年度実績)

		担当部課等名	生涯学習課	
基本構想	交通環境と防災対策の向上	重点的方針	3-2 公共施設の総合的マネジメントとコンパクトさを活かした暮らしやすいまちづくり	
分野別方針	自治体経営	実施計画事業	公有財産管理運営事業(No.89)	
予算等事業名	武道館施設管理運営事業			
目的	公共施設の適切かつ効果的な管理と再配置、及び、行財政運営の効率化による経費の重点配分。			
内容	・維持管理・運営の検討・利用団体運営会議			
根拠法令・条例等	二宮町武道館条例及び条例施行規則			
体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施	<input type="checkbox"/> 一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	<input type="checkbox"/>	③ 未実施
②、③に対する理由					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難		
理由	毎年、事業内容を検討しているが、維持管理費の削減は難しい。				

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる	<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難		
理由	武道館は、利用団体協力のもと管理しているため、団体と協議をしながら効率化を図りたい。				

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 施設の老朽化に伴い、全体の工事が必要と思います。しかし、運営上、利用に支障が出ない部分のみ修繕することが必要と考えます。	

## 総合評価

実績	武道館運営会議年2回・大掃除年1回			
中間評価との相違点				
事業指標(数値指標)				
中期(29年度)目標値	【目標値の根拠または数値で表わせない指標】			
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	利用団体会議で状況確認

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		1,011	939	965	914		
財源内訳	一般財源	1,011	939	965	914		
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他	1,302	1,452	1,303	1,126		

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 管理人がいないため、公費を投入して管理する必要がある。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	C
	【説明】 管理人がいないため、利用団体の協力や一部管理を委託に出して管理している。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	B
	【説明】 利用団体の協力があり、成果は上がっている。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	C
	【説明】 管理人がいないため、公費をかけずに成果は上げれない。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 引き続き事業を推進するため、利用団体と連携を取り、管理していく。	
	【理由】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入	
	【今後の方向性】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入	

# 基礎評価シート(平成29年度実績)

		担当部課等名	生涯学習課					
基本構想	交通環境と防災対策の向上		重点的方針	3-2 公共施設の総合的マネジメントとコンパクトさを活かした暮らしやすいまちづくり				
分野別方針	自治体経営		実施計画事業	公有財産管理運営事業(No.89)				
予算等事業名	町立体育館施設管理運営事業							
目的	公共施設の適切かつ効果的な管理と再配置、及び、行財政運営の効率化による経費の重点配分。							
内容	・維持管理・運営の検討							
根拠法令・条例等	体育施設の設置・管理等に関する条例及び施行規則							
体制	<input type="checkbox"/>	町職員実施	<input type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか								
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている		<input type="checkbox"/>	③ 未実施	
②、③に対する理由								

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか								
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難				
理由		毎年、事業内容を検討しているが、維持管理費の削減は難しい。						

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか								
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難				
理由		修繕及び工事に、維持管理費がかかり、事業の効率化を図りたいが、難しい。						

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)							B
	【説明】 施設の老朽化により、修繕及び工事の維持管理費を検討する必要がある。							

## 総合評価

実績	町立体育館の管理運営						
中間評価との相違点							
事業指標(数値指標)	利用者数						
中期(29年度)目標値	【目標値の根拠または数値で表わせない指標】						
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度				
	71,977	70,108					

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		9,859	9,809	10,604	10,256		
財源内訳	一般財源	4,896	4,373	5,421	4,993		
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他	4,963	5,436	5,183	5,263		

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 多くの町民が集うスポーツ施設及び避難所となっており、公費を投入することが妥当である。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	A
	【説明】 一部委託も取り入れながら、町が主体となって実施すべきである。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	A
	【説明】 健康づくり・スポーツ普及活動の場として多くの方に利用いただいている。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 費用を最小限に抑え、成果を上げている。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 今後も、町民の利便性や多くの方に利用していただける運営をめざした管理運営を行う。	
	【理由】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入	
	【今後の方向性】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入	

# 基礎評価シート(平成29年度実績)

		担当部課等名	生涯学習課	
基本構想	交通環境と防災対策の向上	重点的方針	3-2 公共施設の総合的マネジメントとコンパクトさを活かした暮らしやすいまちづくり	
分野別方針	自治体経営	実施計画事業	公有財産管理運営事業(No.89)	
予算等事業名	町民運動場施設管理運営事業			
目的	公共施設の適切かつ効果的な管理と再配置、及び、行財政運営の効率化による経費の重点配分。			
内容	・維持管理・運営の検討			
根拠法令・条例等	体育施設の設置・管理等に関する条例及び施行規則			
体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施	<input type="checkbox"/> 一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input checked="" type="checkbox"/> その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	<input type="checkbox"/>	③ 未実施
②、③に対する理由					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難		
理由	毎年、事業内容を検討しているが、維持管理費の削減は難しい。				

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難		
理由	修繕及び工事に、維持管理費がかかり、事業の効率化を図りたいが、難しい。				

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】	
	屋外施設の為、ネットやサッカーゴールなど破損や錆により、修繕及び工事の維持管理費がかかるため、検討する必要がある。	

## 総合評価

実績	町民運動場の管理運営			
中間評価との相違点				
事業指標(数値指標)	利用者数			
中期(29年度)目標値	【目標値の根拠または数値で表わせない指標】			
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	56,319	49,644		

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		13,636	13,523	13,448	12,177		
財源内訳	一般財源	11,451	11,487	15,180	14,316		
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他	2,104	2,066	2,032	2,139		

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 多くの町民が集うスポーツ施設となっており、公費を投入することが妥当である。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	A
	【説明】 一部委託も取り入れながら、町が主体となって実施すべきである。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	A
	【説明】 健康づくり・スポーツ普及活動の場として多くの方に利用いただいている。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 費用を最小限に抑え、成果を上げている。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 今後も、町民の利便性や多くの方に利用していただける運営をめざした管理運営を行う。	
	【理由】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入	
	【今後の方向性】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入	

# 基礎評価シート(平成29年度実績)

		担当部課等名	生涯学習課					
基本構想	交通環境と防災対策の向上		重点的方針	3-2 公共施設の総合的マネジメントとコンパクトさを活かした暮らしやすいまちづくり				
分野別方針	自治体経営		実施計画事業	公有財産管理運営事業(No.89)				
予算等事業名	山西プール施設管理運営事業							
目的	公共施設の適切かつ効果的な管理と再配置、及び、行財政運営の効率化による経費の重点配分。							
内容	・維持管理・運営の検討							
根拠法令・条例等	体育施設の設置・管理等に関する条例及び施行規則							
体制	<input type="checkbox"/>	町職員実施	<input type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか								
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている		<input type="checkbox"/>	③ 未実施	
②、③に対する理由								

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか								
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難				
理由		毎年、事業内容を検討しているが、維持管理費の削減は難しい。						

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか								
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難				
理由		修繕及び工事に、維持管理費がかかり、事業の効率化を図りたいが、難しい。						

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)							B
	【説明】 屋外施設で、夏の約2ヶ月間のみ開館しているため、機械の故障や不具合が多く発生するため、事前の修繕及び工事が必要と考えます。							

## 総合評価

実績	山西プールの運営管理							
中間評価との相違点								
事業指標(数値指標)	利用者数							
中期(29年度)目標値								【目標値の根拠または数値で表わせない指標】
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度					
	6,220	5,270						

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		9,751	9,331	8,192	7,823		
財源内訳	一般財源	9,157	8,748	8,771	8,262		
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他	593	583	579	439		

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 町民が集うスポーツ施設及び学校授業・水泳大会など行うため、公費を投入することが妥当である。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	A
	【説明】 委託を取り入れながら、町が主体となって実施すべきである。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	A
	【説明】 健康づくり・スポーツ普及活動の場として多くの方に利用いただいている。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 費用を最小限に抑え、成果を上げている。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 今後も、町民の利便性や多くの方に利用していただける運営をめざした管理運営を行う。	
	【理由】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入	
	【今後の方向性】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入	

# 基礎評価シート(平成29年度実績)

		担当部課等名	生涯学習課
基本構想	交通環境と防災対策の向上	重点的方針	3-2 公共施設の総合的マネジメントとコンパクトさを活かした暮らしやすいまちづくり
分野別方針	自治体経営	実施計画事業	公有財産管理運営事業(No.89)
予算等事業名	町民温水プール施設管理運営事業		
目的	公共施設の適切かつ効果的な管理と再配置、及び、行財政運営の効率化による経費の重点配分。		
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・維持管理・運営の検討</li> <li>・改修工事及び整備</li> </ul>		
根拠法令・条例等	体育施設の設置・管理等に関する条例及び施行規則		
体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施	<input type="checkbox"/> 一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託
	<input type="checkbox"/> その他		

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか				
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	<input type="checkbox"/>
			③ 未実施	
②、③に対する理由				

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか				
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる	<input type="checkbox"/>	② 削減は困難	
理由	毎年、事業内容を検討しているが、維持管理費の削減は難しい。ただし、長期継続(入札)により、経費削減には努めたい。			

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか				
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難	
理由	修繕及び工事に、維持管理費がかかり、事業の効率化を図りたいが、難しい。			

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	C
	<b>【説明】</b> 全体的に、施設の老朽化が目立つ。特に、内部の機械の故障が多く発生している。そのため、全体的に、修繕及び工事計画を明確にして、施設管理を見直す必要がある。	

## 総合評価

実績	町民温水プールの運営管理		
中間評価との相違点			
事業指標(数値指標)	利用者数		
中期(29年度)目標値	<b>【目標値の根拠または数値で表わせない指標】</b>		
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	72,402	68,305	

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		55,270	54,618	41,577	40,945		
財源内訳	一般財源	35,071	35,560	60,134	60,066		
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他	19,983	19,290	18,557	19,121		

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 町民が集うスポーツ施設及び学校授業など行うため、公費を投入することが妥当である。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	A
	【説明】 委託を取り入れながら、町が主体となって実施すべきである。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	A
	【説明】 健康づくり・スポーツ普及活動の場として多くの方に利用いただいている。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 費用を最小限に抑え、成果を上げている。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 今後も、町民の利便性や多くの方に利用していただける運営をめざした管理運営を行う。	
	【理由】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入	
	【今後の方向性】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入	

# 基礎評価シート(平成29年度実績)

		担当部課等名	生涯学習課					
基本構想	交通環境と防災対策の向上		重点的方針	3-2 公共施設の総合的マネジメントとコンパクトさを活かした暮らしやすいまちづくり				
分野別方針	自治体経営		実施計画事業	公有財産管理運営事業(No.89)				
予算等事業名	ITコーナー管理運営事業							
目的	公共施設の適切かつ効果的な管理と再配置、及び、行財政運営の効率化による経費の重点配分。							
内容	・効率的な管理・運営							
根拠法令・条例等								
体制	<input checked="" type="checkbox"/>	町職員実施	<input type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	<input type="checkbox"/>	③ 未実施
②、③に対する理由	ITコーナーとして計画通り運営している。				

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる	<input type="checkbox"/>	② 削減は困難		
理由	配置機器等のリース期間満了に合わせて、必要性を検討し、経費の削減を図る。				

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難		
理由	限られたスペースの中でITコーナーと証明書発行を行っており、かつ、ラディアン機能向上につながっており、効率化が図られている。				

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)				A
	【説明】	一定のニーズがあることからラディアンの機能として継続していくが、機器のリース期間満了に合わせて、方向性を検討する必要がある。			

## 総合評価

実績	ITコーナーの管理運営				
中間評価との相違点	ITサービスコーナーとして、平成27年11月からパソコンを自由に使える「ITコーナー」と各種証明書発行を行う「サービスコーナー」を設置している。				
事業指標(数値指標)	利用件数				
中期(28年度)目標値	【目標値の根拠または数値で表わせない指標】				
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	「ITコーナー」の利用状況	
	13,345	10,424			

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		6,805	6,676	4,080	3,979		
財源内訳	一般財源	6,581	6,392	3,869	3,739		
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他	224	284	211	240		

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	B
	【説明】 IT館廃止の移行期間として、またラディアンの機能向上として公費の投入は妥当である。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	B
	【説明】 ITコーナーに関しては委託も検討できるが、現状においては町で実施している。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	B
	【説明】 ラディアンに設置したことの利便性もあり、一定の成果がある。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 ITコーナーについて見直し、開設時間を短縮し、費用の削減に努めている。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 ITコーナーについては、町民の利便性は高いが、IT普及については目的を達成したため、機器のリース期間終了の平成31年2月より廃止をする。	
	【理由】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入  町民の利便性が図られているが、さらに効率的な運営が求められている。	
	【今後の方向性】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入  休日・夜間における行政サービスの一環として、各種証明書の発行業務については、継続させていく必要はある。	